

失敗

しない!

ニューノーマル
時代のオフィスとは・・・

これだけは
検討してほしい

3つの対策!

場

の多様性

安全

の確保

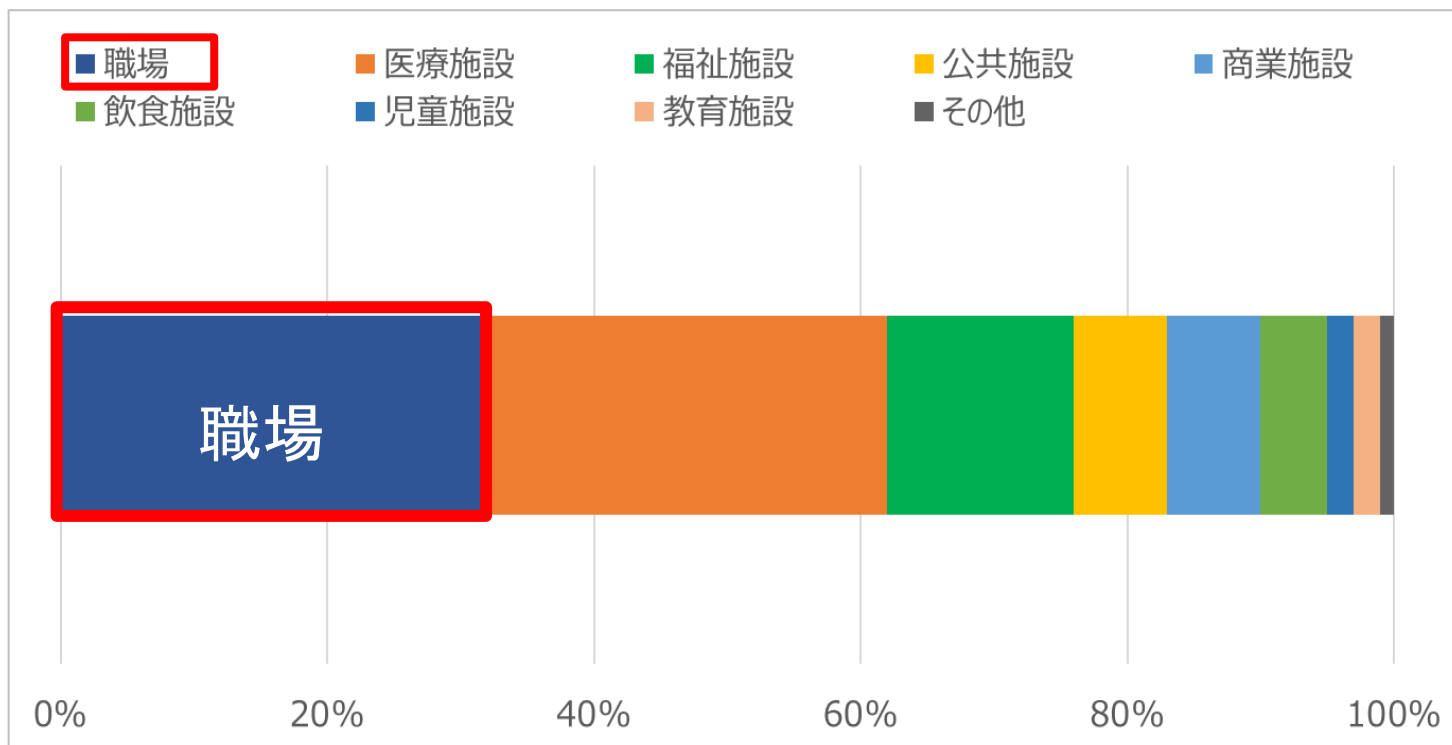
機能

の特化

実は、職場での感染が一番多かった

緊急事態宣言中に医療機関や教育施設、あるいは飲食店や商業施設が危険視されていたが、実際は「職場」つまりオフィスで感染した件数が他のどこよりも多い（下グラフ参照）

新型コロナウイルスに感染した場所



2020年4月時点・JX通信社「新型コロナウイルス 日本国内の最新感染状況マップ・感染者数」より

ウイルスとの共存が前提になる “ WITHコロナ ~ AFTERコロナ ” の時代のオフィスのあり方

在宅勤務の増加



自由な反面、
孤独感は強くなり、
職場とつながる
感覚は不足。

ストレス増 &
コミュニケーション減

オフィスが 求められるモノが変化



- 安全に、安心して働けることは必須条件
- 同時に「効率性」「創造性」「集中力」を高めてくれる場

在宅とは
異なる“快適さ”で
ストレスから解放
させる要素も
必要

これからのオフィスに重要な3つのポイント

「場」の多様性

1 コロナショックをきっかけにして普及した在宅勤務と同時に本社オフィスまで出向かなくても比較的近い場所に小規模なサテライトオフィスを設けたり、共用スペースであるコワーキングスペースの併用を推奨したりしていく企業は今後増えていく見込み。一方、従来のオフィスの役割はむしろ在宅勤務等では手に入らない多様な役割を持たせるため、さまざまな工夫を施すことが発生。椅子や机の配置換えや空間のレイアウトを変更する機会は、今まで以上に増加傾向。

「安全」の確保

2 ① ウイルス感染を防止するという意味での安全確保
消毒や手洗いの徹底という措置は最低限の事柄。接触感染をより防ぐためには、例えば照明スイッチのオンオフ等、できるだけ非接触で行えるような工夫が求められる。さらに、換気など室内の空気をクリーンなものにしていく対応も必要。

② 働く場が多様化している中で、災害などが発生した際の社員の安全
「本社オフィス」や「オフィス以外の場で災害や停電などに遭遇」した時に非常用の電源や連絡用のネットワークなどを整備していくことができれば、多様化していく働き方の中でも、一定の安全の維持も可能。

「機能」の特化

3 「例えば、在宅勤務では得られないような集中力を高めることのできる空間を用意したり、コピー機の位置を変えることで異なる部署の社員と出合いが増え、在宅勤務で失われがちな仲間とのつながりをサポート。このように社員の生産性や創造性を引き上げながら、在宅勤務では手に入らない「機能」を提供していくのも、これからのオフィス作りのポイント。

出勤社員の減少やソーシャルディスタンス対応に最適な照明システム

一体型LEDベースライト iDシリーズ ウィズリモ

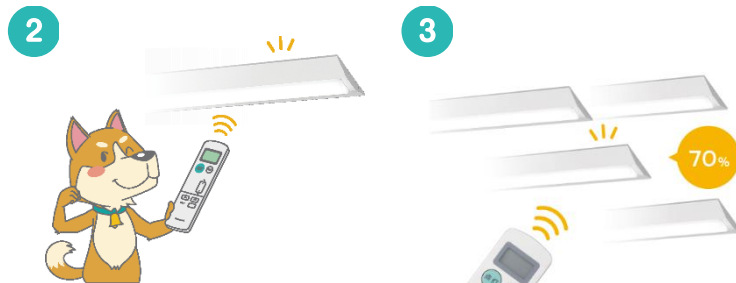
在宅勤務する社員増加＝オフィス出勤者減。
省エネルギーも考えれば、無用な照明はオフにすることで、
在宅勤務に対応しながら同時に経費抑制が可能に。

一体型LEDベースライト iDシリーズ「ウィズリモ」は信号線工事や初期設定が不要で、送信器（リモコン）で明るさ調整がすぐにできるベースライト。
明るさ調整したい器具に送信器を向けてボタンを押すだけで、感覚的に操作が可能。一台ずつ調整できるため、省エネ・快適さにあわせたさまざまなシーンに使えます。



器具交換だけでかんたん！

信号線工事が不要だから短工期・省施工。器具を取り替えるだけで、明るさ調整が可能です。



設定不要でかんたん！

明るさを調整したい器具に対して、送信器を向けボタンを押すだけで、感覚的に操作できます。



一台ずつ明るさ調整でかんたん！

一台ずつ調整できるため省エネ・快適さにあわせたさまざまなシーンに使えます。



非常時・災害時でも確実に電源を確保

[産業・住宅用] リチウムイオン蓄電システム

従来のオフィスに加え、在宅やサテライトオフィスなど、電源をはじめとするエネルギーの確保も考慮しなければいけません。災害などにより停電が発生した場合に備え、従来のオフィスに加え、在宅勤務者への対応も必要となります。

「産業・住宅用」リチウムイオン蓄電システム スタンドアロンタイプ（蓄電容量3.5 kWh）

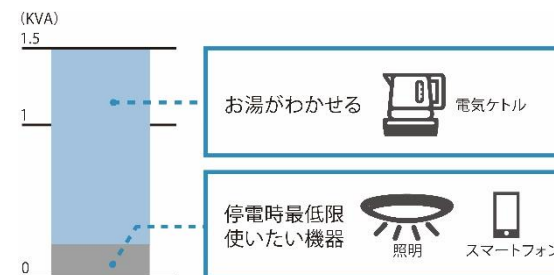
USBコンセント搭載、1500 VAの高出力で停電時も一度に多くの機器（※2）が接続可能で、震度6強レベルの地震でも筐体の転倒を防止する高い耐震性（※1）



リチウムイオン蓄電システム
スタンドアロンタイプ（蓄電容量 3.5kWh）



設置イメージ

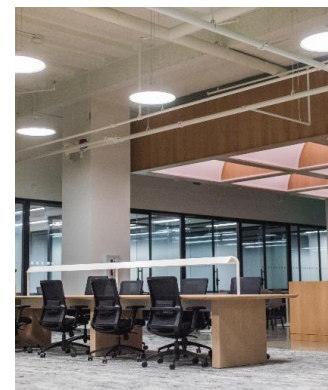


※2021年1月15日受注開始

※1：当社独自の試験に於いて、阪神淡路大震災波形（JAM神戸波）を模擬した波形に応答倍率1.5倍の振動を加えて転倒しないことを確認。
※2：接続機器の消費電力は1500 VA以内（およそ1500 W相当）まで。接続機器の消費電力が出力より大きい場合は運転を停止します。

これからのオフィスの「新しい基準＝ニューノーマル」だからこそ計画的にしっかりとリニューアルを

コロナショックを“危機”と捉えるのではなく、
「新しい時代の基準＝ニューノーマル」へ移行する変革の“好機”だと捉える……
そんな潮流がビジネスの世界で広がっています。オフィスの変革も同様に、
より働く人の目線に立った「働き方改革」を強力に
推し進めるチャンスだと考えれば、オフィスを変えていく必要があります。
なにもかも一度に変えることはできなくても、最適な形へと計画性をもって
効率的にリニューアルを実行すれば、withコロナの段階から、
afterコロナの段階に時代が移行してからも、「働きやすい場」として機能していくことでしょう。



お問い合わせ

※掲載内容は2020年10月現在のものです、予告なく変わる場合があります。